

仕 様 書

1 適用

本仕様書は、千葉公園総合体育館における駐車場事前精算機の設置業務委託を行うために適用する。

2 事前精算機の運用条件

(1) 使用時間

午前7時00分から午後9時30分まで

※なお、使用時間の延長もあり得る。

(2) 休館日

年末年始（12月29日から翌年の1月3日まで）

※臨時の開館等もあり得る。

(3) 駐車場

千葉公園第一駐車場：千葉市中央区弁天4丁目463番1

（台数：299台（うち身障者用10台））

(4) 駐車場使用料（以下、「駐車料金」という。）

車両1台につき1時間ごとに300円を加算し、1日最大700円とする。ただし、身体障害者手帳等の交付を受けている者が当該手帳を提示して駐車場を利用する場合は使用料を免除する。なお、賃貸借期間内の料金見直しもあり得る。

3 借入物品

(1) 機器 ： 事前料金精算機 2台

(2) 設置場所： 千葉公園総合体育館2階入口横

4 事前精算機の機能等

(1) 駐車料金の精算

- ・ 駐車料金の精算を千葉公園総合体育館内で乗車前に行える。
- ・ 事前精算を行うと精算済み駐車券が利用者に返却される。
- ・ 事前精算した時刻から45分以内であれば、出口では精算済み駐車券の投入だけで出場が可能。
- ・ 事前精算機に駐車券を挿入すると、磁気データの入庫日時から料金を計算し、画面へ表示する。
- ・ 領収証が必要な場合は領収証ボタンを押す事により領収証が発行される。
- ・ つり銭がある場合は、事前精算機から硬貨で払いだされる。

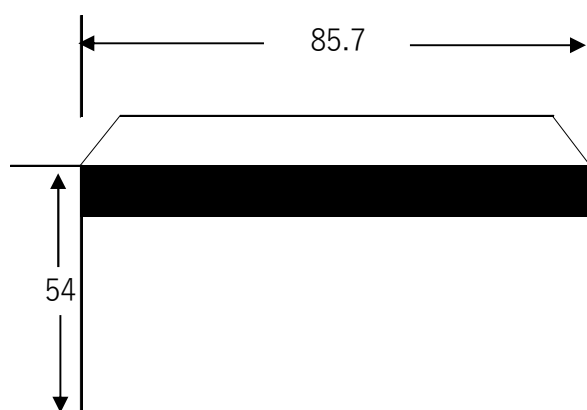
- ・精算が完了すると、精算時刻を駐車券に印字及び磁気書込みして返却する。
- ・精算後、45分を超過すると再び時間超過が発生し、再精算を行う必要がある。
- ・再精算は、何度でも行うことができる。
- ・精算記録及び集計記録は電子又は紙媒体にて出力できる。
- ・金銭管理機能により案内表示器に現在の金種毎の保有枚数が表示できる。

(2) その他

- ・既存駐車場料金精算システム（アマノ社製）と連動し、既存システムの事前精算機として機能すること。（既存機器：駐車券発行機 GT-2800i、全自動料金精算機 GT-4700GP）
- ・駐車料金の精算は、硬貨、紙幣にて精算できる機器に対応していること。
- ・キャッシュレス決済については、必要になった際に別途契約にて組込むことができる仕様とする。
- ・電源については、近傍のコンセントより引き込むこと。

(3) 駐車券

番号	項目	仕様・条件	備考
1	方式	ファンホールド式磁気ストライプ紙	
2	サイズ	下図参照	
3	印刷方法	ドットインパクト式（インクリボン）	
4	印刷内容	機械番号、入庫番号、料金種別、入庫年月日時分、出庫年月日時分、駐車場名	



5 借入期間

(1) 令和5年12月1日から令和10年7月31日まで（4年8カ月間）

※機器設置期限は、操作説明を施設管理者へ行うことも含めて令和5年11月30日までとし、借入期間開始までの間は賃借料に含まないものとする。

- (2) 本業務は地方自治法第234条の3に基づく長期継続契約であり、令和5年度以降に予算が措置されない場合は、変更契約の締結又は契約の解除を行う。なお、変更契約の締結又は契約の解除により受注者が損害を受けることがあっても、発注者は損害賠償責任を負わない。

6 その他

(1) 設置

- ・配線等設置に係る費用は、賃借料に含むものとする。
- ・機器の設置に当たっては、現在運用中の施設や駐車場ゲートに極力影響がないように、施設管理者と十分に協議をし、設置すること。
- ・設置後の調整を行い、施設管理者への操作説明を行うこと。
- ・駐車券、領収書その他の消耗品等の費用は賃借料に含まない。
- ・設置後の保守点検に係る費用は、賃貸借料に含むものとする。

(2) 借入期間終了時の扱い

- ・賃貸借期間終了時には、原則として各機器を撤去すること。なお、当該撤去に係る費用は賃借料に含むものとする。

(3) 動産総合保険

- ・受注者の負担で、動産総合保険に加入すること。

(4) 毎月の支払金額（月額賃貸借料）

- ・総額を賃貸借期間の月数（56カ月）で均等に按分したものとする。

(5) その他

- ・令和5年10月に実施される インボイス制度に対応していること。